



第47回

全国育樹祭

FUKUI 2024

育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地

実施計画書

令和6年3月

第47回全国育樹祭福井県実行委員会



第1章 開催計画

| | | |
|---|------------|----|
| 1 | 全国育樹祭の概要 | 4 |
| 2 | 福井県での開催状況 | 4 |
| 3 | 開催方針 | 5 |
| 4 | 大会テーマ | 7 |
| 5 | 大会シンボルマーク | 7 |
| 6 | 大会ポスター（原画） | 7 |
| 7 | 開催概要 | 8 |
| 8 | 会場位置図 | 11 |

第2章 お手入れ行事計画

| | | |
|---|-----------|----|
| 1 | 基本的な考え方 | 13 |
| 2 | お手入れ行事の概要 | 13 |
| 3 | 会場整備・設営 | 15 |
| 4 | 記念育樹活動等 | 17 |

第3章 式典行事計画

| | | |
|---|------------|----|
| 1 | 基本的な考え方 | 19 |
| 2 | 式典行事の概要 | 19 |
| 3 | アトラクションの概要 | 21 |
| 4 | 会場設営 | 22 |
| 5 | おもてなし広場 | 25 |

第4章 懇談会計画

| | | |
|---|------------------|----|
| 1 | 基本的な考え方 | 27 |
| 2 | 懇談会（歓迎レセプション）の概要 | 27 |

第5章 併催行事計画

| | | |
|---|---------------|----|
| 1 | 育林交流集会 | 29 |
| 2 | 全国緑の少年団活動発表大会 | 30 |



第6章 記念行事計画

| | | |
|---|-----------------|----|
| 1 | 森林・林業・環境機械展示実演会 | 32 |
| 2 | 県民育樹行事 | 33 |
| 3 | その他の記念行事 | 33 |

第7章 運営計画

| | | |
|----|----------------|----|
| 1 | 基本的な考え方 | 36 |
| 2 | 実施本部設置計画 | 36 |
| 3 | 参加者行動計画 | 41 |
| 4 | 宿泊計画 | 43 |
| 5 | 輸送計画 | 43 |
| 6 | 受付計画 | 44 |
| 7 | 警備・警護計画 | 44 |
| 8 | 消防・防災計画 | 45 |
| 9 | 救護・衛生計画 | 45 |
| 10 | 参加者サービス計画 | 46 |
| 11 | 視察（エクスカージョン）計画 | 47 |
| 12 | 雨天時・荒天時対応計画 | 47 |

第8章 広報・協賛計画

| | | |
|---|------|----|
| 1 | 広報計画 | 49 |
| 2 | 協賛計画 | 49 |

第9章 開催準備計画

| | | |
|---|-----------------|----|
| 1 | リハーサル計画（お手入れ行事） | 51 |
| 2 | リハーサル計画（式典行事） | 52 |
| 3 | 開催スケジュール | 53 |



第1章 開催計画

1. 全国育樹祭の概要

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、活力ある森林を次の世代につなげていくことを目的として、昭和52年から毎年秋期に行われている全国行事です。

全国育樹祭では、全国植樹祭において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れされるシンボリック的行事に加え、参加者による育樹活動、皇族殿下によるおことばや各種表彰等の式典行事が行われます。

2. 福井県での開催状況

本県では過去に、全国植樹祭が2回、全国育樹祭が1回、開催されています。

昭和37年に坂井郡丸岡町女形谷（現坂井市）で開催された第13回全国植樹祭は、「湿雪地帯の拡大造林と森林生産力の増大」をテーマに、拡大造林を推進する契機となりました。

昭和55年に坂井郡丸岡町楽間（現坂井市）で開催された第4回全国育樹祭は、「緑できずこう豊かな未来」をテーマに、保育活動の重要性を広く提示しました。

平成21年、本全国育樹祭と同会場となる福井市城戸ノ内町一乗谷朝倉氏遺跡で開催された第60回全国植樹祭は、「未来へつなごう 元気な森 元気なふるさと」をテーマに、森林と関連した地域の振興への期待と意識を喚起する機会となりました。

第13回全国植樹祭

- テーマ： 湿雪地帯の拡大造林と森林生産力の増大
- 開催日： 昭和37年4月21日
- 会場： 福井県坂井郡丸岡町女形谷（現坂井市）



第4回全国育樹祭

- テーマ： 緑できずこう豊かな未来
- 開催日： 昭和55年10月11日
- 会場： 福井県坂井郡丸岡町楽間（現坂井市）
グリーンセンター



第60回全国植樹祭

- テーマ： 未来へつなごう 元気な森 元気なふるさと
- 開催日： 平成21年6月7日
- 式典会場： 福井県福井市城戸ノ内町 一乗谷朝倉氏遺跡





3. 開催方針

福井県は、越前地方の緑豊かな山々と、若狭湾へと繋がる溪流の水の美しさから「越山若水」と称され、豊富な自然や美しい景観の中で人々は、森林からの恩恵を受けながら暮らし、歴史を紡ぎ、多彩な文化を育んできました。

森林は、木材などの資源を供給するだけでなく、水を蓄え、自然災害を防ぎ、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を抑制するなど、健康で安らぎのある暮らしに欠くことのできない重要な役割を担っています。また、SDGs（持続可能な開発目標）の達成にも大きく貢献しています。

この大切な森林が本格的な利用期を迎えていることから、県では、主伐による収益向上と適切な再造林を進める「ふくい型林業経営モデル」を構築し、循環型の林業経営を推進するとともに、県産材利用の拡大については、住宅や公共施設での利用に加え、民間施設における利用を進めるため、県や木材事業者・経済団体が連携し、「ふくいの木づかい企業」を広く展開しています。

また、森に親しみ森を守るため、特用林産物のブランド化や里山トレイル等の森林の多様な活用による山村の振興、次代を担う子どもたちへの森林環境教育、災害に強い森づくりなど、様々な取組みを進めています。

こうした中で全国育樹祭を開催することは、本県の森林づくりや県産材利用を一層推進する絶好の機会と捉え、県内各地で、育樹活動や木工体験などの木に触れて親しむ機会を幅広く県民に提供し、これまで展開してきた「緑と花の県民運動」の一層の推進を図り、「木を伐って使い、植え育てる」機運を県全体で高めていくことを目指します。

本大会は、森林の大切さや木の良さ、木を使うことの意義を再認識するとともに、本県の歴史や伝統文化、新鮮な農林水産物などの魅力を全国に発信し、美しく豊かな水と緑に恵まれたふるさと福井を次の世代につないでいくための行事として開催します。



全国育樹祭とは

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、活力ある森林を次の世代につなげていくことを目的として、昭和52年から毎年秋季に行われている全国行事です。全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、国土緑化推進機構との共催で行われています。

<福井県のこれまでの開催>

第13回全国植樹祭（昭和37年）

第4回全国育樹祭（昭和55年）

第60回全国植樹祭（平成21年）

第47回全国育樹祭（令和6年）

森林・林業に関するこれまでの取組み

- 主伐・再造林による森林資源の循環利用
- 県産材の積極的な利用
- 森林の多様な活用による山村の振興
- 子どもたちへの森林環境教育の推進
- 災害に強い森づくり

第47回全国育樹祭の開催

- 「緑と花の県民運動」を一層推進
- 森林の大切さや木の良さ、木を使うことの意義を再認識

「木を伐って使い、植え育てる」機運を醸成

美しく豊かな水と緑に恵まれたふるさとを
次世代に引き継ぐ



4. 大会テーマ

育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地

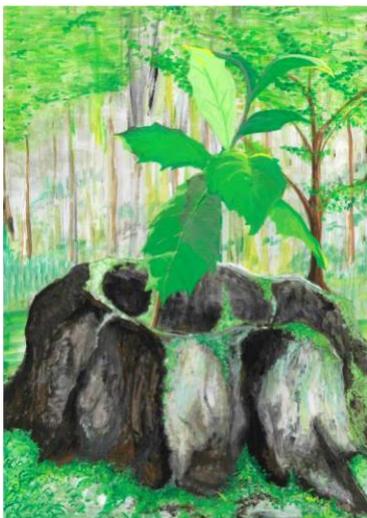
- 作者 いのうえ やすし 井上 靖 さん（神奈川県小田原市在住）
- 講評 新たな芽吹きがやがて緑の大地となるように、育樹活動を通して大切に育てていこうという思いが表現されています。大きく成長した木々からもたらされる様々な恵みは、私たちの豊かで幸せな暮らしにつながっていくというメッセージが感じられます。

5. シンボルマーク



- 作者 みやがわ 宮川 さやか さん（長野県長野市在住）
- 講評 まず一目見て、福井を象徴する「F」が際立ったデザインに目が留まります。一般的な樹木のイメージは「緑色」ですが、その源となる「水」を想起する青緑色が新鮮で、持っている種から芽吹いた若葉色がさらに引き立っています。九頭竜川を題材にした個性的な「F」のシンボルマークは、大会テーマとの相乗効果で、福井から発信する新たな独自性が感じられます。

6. 大会ポスター（原画）



- 作者 みたむら くみ 三田村 空美 さん
（越前市南越中学校1年【令和4年度当時】）
- 講評 朽ち果てたかのような切り株から、新しい命が芽吹くドラマチックな森のシーンがとてもみずみずしい。まさに今世界が目標とする、SDGsに対応するような見事な視点です。人の作為や想像を超えた、自然の雄大な生命力を感じさせる表現は大会テーマと呼応する、福井大会にふさわしい広報ポスターです。



7. 開催概要

1 全国育樹祭行事

主 催 福井県、公益社団法人国土緑化推進機構

(1) お手入れ行事

ア 開催日 令和6年10月19日(土)
イ 会 場 一乗谷朝倉氏遺跡(福井市城戸ノ内町)
ウ 参加者 約350人
エ 内 容 皇族殿下による天皇皇后両陛下お手植え樹木のお手入れ

(2) 式典行事

ア 開催日 令和6年10月20日(日)
イ 会 場 福井県産業振興施設(サンドーム福井)
(越前市瓜生町・鯖江市宮前2丁目)
ウ 参加者 約4,000人
エ 内 容 皇族殿下のおことば、緑化等功労者の表彰、緑の少年団活動の発表、
メインアトラクション、大会宣言など

(3) 懇談会(歓迎レセプション)

ア 開催日 令和6年10月19日(土)
イ 会 場 未定
ウ 参加者 約400人
エ 内 容 皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者を招待し、全国育樹祭での各種
表彰者に祝意を表す場として懇談会(歓迎レセプション)を開催



2 併催行事

(1) 育林交流集会

| | |
|-------|--|
| ア 主 催 | 福井県、公益社団法人国土緑化推進機構 |
| イ 開催日 | 令和6年10月19日(土) |
| ウ 会 場 | プラザ萬象 |
| エ 参加者 | 約500人 |
| オ 内 容 | 県内外の林業・木材産業の関係者や、次代を担う学生などの参加による森林づくりや木材利活用をテーマとした優良事例報告など |

(2) 全国緑の少年団活動発表大会

| | |
|-------|----------------------------------|
| ア 主 催 | 福井県、公益社団法人国土緑化推進機構 |
| イ 開催日 | 令和6年10月19日(土) |
| ウ 会 場 | 福井県県民ホール(AOSSA 8階) |
| エ 参加者 | 約300人 |
| オ 内 容 | 県内および全国から選出された緑の少年団による日頃の活動状況発表等 |

3 記念行事

(1) 森林・林業・環境機械展示実演会

| | |
|-------|---|
| ア 主 催 | 福井県、一般社団法人林業機械化協会 |
| イ 開催日 | 令和6年10月20日(日)～21日(月) |
| ウ 会 場 | スキージャム勝山 |
| エ 参加者 | 約17,000人 |
| オ 内 容 | 充実する国内の森林資源の活用に欠かせない高性能林業機械や、日進月歩で技術が進み活用が期待される情報関連機器等、森林林業・木材産業の効率化・高度化に資する関連メーカー等が最新技術を展示実演 |



(2) 県民育樹活動

| | |
|-------|---|
| ア 主 催 | 福井県 |
| イ 開催日 | 令和5年6月～11月 |
| ウ 会 場 | 福井県内各地区 |
| エ 参加者 | 約16,000人 |
| オ 内 容 | 第47回全国育樹祭の開催機運醸成を目的に、県内5地区（福井、坂井、奥越、丹南、嶺南）および総合グリーンセンターで育樹行事を開催 |

(3) その他の記念行事

【 国民参加の森林づくりシンポジウム 】

| | |
|-------|---|
| ア 主 催 | 福井県、公益財団法人森林文化協会、 公益社団法人国土緑化推進機構、株式会社朝日新聞社 |
| イ 開催日 | 令和5年11月26日（日） |
| ウ 会 場 | ハートピア春江 大ホール |
| エ 参加者 | 約300人 |
| オ 内 容 | 基調講演、パネルディスカッション等 |

【 福井県緑の少年団活動発表大会 】

| | |
|-------|------------------------|
| ア 主 催 | 福井県、公益社団法人福井県緑化推進委員会 |
| イ 開催日 | 令和5年12月20日（水） |
| ウ 会 場 | 福井県県民ホール（A O S S A 8階） |
| エ 参加者 | 約220人 |
| オ 内 容 | 県内緑の少年団による活動発表を実施 |

8. 会場位置図



| 令和5年度 | 令和6年度 | | |
|--------------------|----------------|-----------------|-----------|
| | 10月19日(土) | 10月20日(日) | 10月21日(月) |
| 「国民参加の森林づくり」シンポジウム | お手入れ行事 | 式典行事 | |
| 福井県緑の少年団活動発表大会 | 憩談会 (歓迎レセプション) | | |
| 育樹行事 | 育林交流集会 | 森林・林業・環境機械展示実演会 | |
| | 全国緑の少年団活動発表大会 | | |



第2章 お手入れ行事計画



1. 基本的な考え方

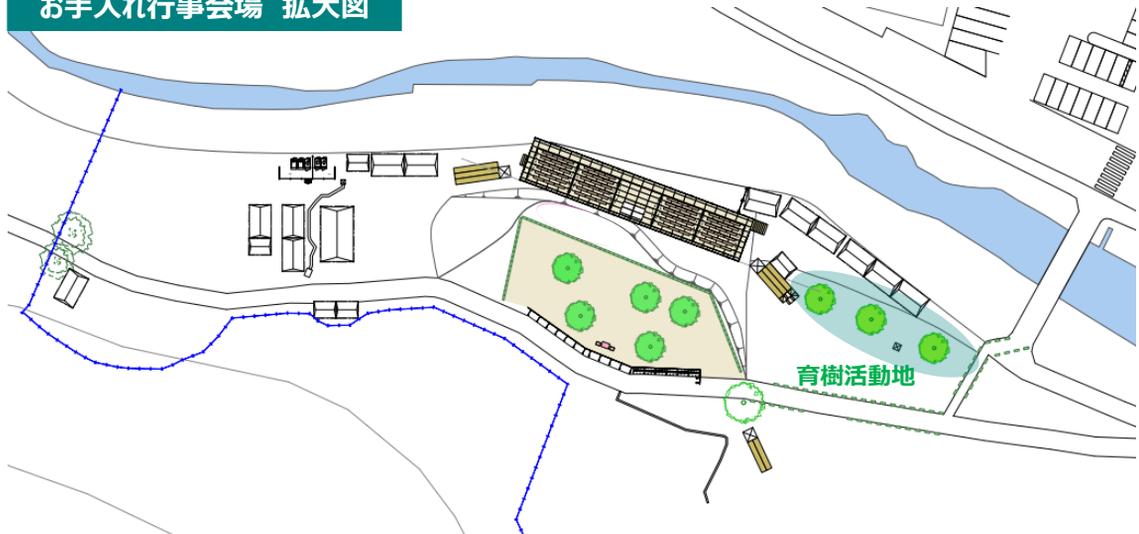
平成21年に開催された、第60回全国植樹祭で天皇皇后両陛下（現在のの上皇上皇后陛下）がお手植えになられた樹木を皇族殿下がお手入れされるという育樹の実践を通して「継続して森を守り育てることの大切さ」を全国に広めます。

2. お手入れ行事の概要

- (1) 開催日 令和6年10月19日（土）
- (2) 会場 一乗谷朝倉氏遺跡（福井市城戸ノ内町）

一乗谷朝倉氏遺跡は、戦国大名朝倉氏が5代100余年にわたる越前支配の拠点として計画的に築いた城下町跡です。発掘調査が始まった昭和42年から半世紀以上、調査研究及び史跡整備が続けられており、昭和46年には一乗谷城を含む278haが国の特別史跡に指定されました。平成21年の第60回全国植樹祭では、同会場において天皇皇后両陛下がお手植えされました。

お手入れ行事会場 拡大図



【お手植え樹木の状況】



- (3) 参加者 約350人

中央推薦、県知事推薦、福井市長推薦、県内林業関係団体、協賛企業、スタッフ



(4) 次第

| | |
|---------------|--|
| 記念育樹活動 | |
| 特別接遇者等による育樹活動 | 会場内の樹木に施肥および記念撮影 介添え：県内緑の少年団等 |
| お手入れ行事 | |
| 皇族殿下御着 | 先導：福井県知事 御出迎え：大会会長（参議院議長）、(公社)国土緑化推進機構理事長 先行：県内緑の少年団 |
| パネル展示御覧 | 説明：県内緑の少年団 第60回全国植樹祭（平成21年）の様子等 |
| お手入れ | 皇族殿下による、天皇皇后両陛下のお手植え木への施肥等 介添え：県内緑の少年団、県内高校生 |
| 皇族殿下御発 | 先導：福井県知事 御見送り：大会会長（参議院議長）、(公社)国土緑化推進機構理事長 |

(5) お手入れ内容

ア お手入れ対象樹木

樹種：アカマツ、スダジイ

樹齢：16年（令和6年3月時点）

イ お手入れ作業

皇族殿下による施肥等



◀ お手入れのご様子
※第45回全国育樹祭

ウ お手入れ道具

手鋸、肥料入れ、鍬

お手入れ道具には福井県産材を使用します。

第45回全国育樹祭 お手入れ道具▶





3. 会場整備・設営

(1) 会場概要

会場となる一乗谷朝倉氏遺跡は特別史跡に指定されていることから、仮設物は必要最小限度にとどめ、周辺の景観および遺構に影響を与えぬよう十分配慮します。また、使用する木材には福井県産材を活用します。

【お手入れ行事会場イメージ】



県内の高校生が育成した花を設置します。



【マリーゴールド】



【ペチュニア】



(2) 会場設営

【主要な仮設物等の設置計画】

ア 仮設テントの設置

参加者席は、大型テントを設置し快適な会場づくりに努め、テントなどの仮設施設は必要最小限にとどめ、適切な規模（数、大きさ）とします。

イ 金属探知機の設置

安全を確保するため、警戒エリアを設定します。また、会場内のセキュリティーを確保するため、金属探知機による入場管理を徹底します。

ウ 会場装飾

会場を彩り、動線を確保するため県内産の飾り花で装飾します。木製プランターカバー、木製ベンチ、お手入れ区域の木柵には、福井県産材を使用します。また、木製プランターカバーと木製ベンチは、行事終了後、公共施設等で活用することで、全国育樹祭の理念を県民に伝えます。

エ 案内誘導サイン

参加者が安全かつ円滑にお手入れ行事に参加することができるよう案内誘導サインを設置します。

オ 湯茶接待コーナー

湯茶接待コーナーを設置し、湯茶等の提供を行います。

カ 仮設トイレ

トイレは基本的に会場設備を利用し、不足が見込まれる分を仮設で設置します。

キ 電気設備

既存の電気設備で不足する容量を仮設にて設置します。



4. 記念育樹活動 等

(1) 育樹活動

ア 育樹概要

お手入れ行事開始前に、特別待遇者が施肥を行います。

イ 育樹道具

- ・参加者には、手袋、肥料、スコップ等を用意します。
- ・肥料袋は、生分解性の袋を使用します。

ウ 育樹方法

- ・樹木1本あたり6箇所程度の肥料を施し、1人1箇所の穴に肥料を入れます。
- ・緑の少年団等が介添えを行います。

(2) アトラクション演出

開催地である一乗谷朝倉氏遺跡の魅力を知っていただけるよう、お手入れ行事開始前にアトラクションでおもてなしを演出します。



第3章 式典行事計画



1. 基本的な考え方

全国育樹祭の開催方針に基づき、大会テーマである「育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地」を象徴的に表現し、美しく豊かな水と緑に恵まれたふるさと福井を次の世代につないでいく緑の祭典となるよう演出します。

2. 式典行事の概要

(1) 開催日 令和6年10月20日(日)

(2) 会場 福井県産業振興施設(サンドーム福井) (越前市瓜生町・鯖江市宮前2丁目)



サンドーム福井は大きくイベントホール棟と管理会議棟の二つの建物で構成されており、越前耀変タイルや越前鬼瓦、越前和紙など地場産業の技術に応用した建築材料が使用されています。イベントホール棟は、直径116m、高さ55m、展示面積8,000㎡、そして9,000席の観客席を有する多目的のホールです。

(3) 参加者 約4,000人

| 区分 | 人数 | 内容 |
|-------------|---------|-----------------------|
| 県外参加者 | 約 800人 | 中央推薦、各都道府県知事推薦等 |
| 県内参加者 | 約2,000人 | 実行委員会会長選考、市町推薦、一般公募 等 |
| 出演者・運営スタッフ等 | 約1,200人 | |



(4) 次第

| 式次第 | 行事概要 |
|--|--|
| ■プロローグ | |
| オープニングアトラクション 【悠久の森～ふくい響き】 | 悠久の歴史と文化が息づく福井県への歓迎と式典に向けた期待感を高めるアトラクションの展開、会場内にふくいの森林の没入空間を創出 |
| 福井県紹介映像 | |
| 奉迎準備 | インターバル |
| ■式典 | |
| 皇族殿下御着 | |
| 開会のことば | (公社)国土緑化推進機構副理事長 |
| 黙祷 | 能登半島地震で亡くなられた方への黙祷 |
| 三旗・緑の少年団入場 | 三旗・緑の少年団入場：県内緑の少年団 |
| 国歌斉唱・三旗掲揚 | |
| 主催者あいさつ | 大会会長（参議院議長）、福井県知事 |
| 歓迎のことば | 福井県議会議長、越前市長 |
| 皇族殿下のおことば | 皇族殿下 |
| 表彰 | 緑化等功労者へ感謝状等を贈呈 贈呈者：大会会長（参議院議長）、農林水産大臣、 (公社)国土緑化推進機構理事長、福井県知事 |
| 緑の贈呈 | 全国緑の少年団活動発表大会の発表団体へ苗木を贈呈 |
| 緑の少年団活動発表 | 県代表の緑の少年団の活動発表 |
| メインテーマアトラクション Fukui Forest Design 【蘇る栄華～しあわせの継承】 | 「森と木を活用するしあわせ」を紹介し、オリジナルソングの大合唱とオリジナルダンスによる華やかなシーンを創出 |
| 大会宣言 | (公社)国土緑化推進機構理事長 |
| 次期開催県あいさつ | 宮城県知事 |
| 閉会のことば | 鯖江市長 |
| 皇族殿下御発 | |
| ■エピローグ | |
| エピローグアトラクション | 林業の担い手や森や木に親しむ子どもたちのメッセージや、ふくいの元気と躍動を伝える若い世代のエアールでエピローグアトラクションを展開 |



3. アトラクションの概要



演出テーマ

響き合う、森と木と人の物語

ふくい森林で繰り広げられる時空を超えた壮大な物語の構成

■プロローグ 悠久の森～ふくいの響き

太古の響き（フクイサウルス）言葉の響き（紫式部と越前和紙）
文化の響き（地域の伝統芸能）

蘇る栄華～しあわせの継承

■メインテーマアトラクション

第一幕

朝倉氏の栄華を訪ねて

- ナビゲーターとトークゲストが登場、前日のお手入れ会場である「一乗谷朝倉氏遺跡」の紹介、そして当時の一乗谷に暮らす人々への想い、豊かでしあわせな暮らしを語る
- 「越前漆器」「越前筆筒」など、木と人のふれあいとそこから誕生した伝統工芸品を紹介

第二幕

受け継がれし木の文化

- マリンバとハーブが奏でられる中、木の価値向上に携わる人々を紹介
- 本県独自の林業の取り組み「Fukui Forest Design」を紹介

第三幕

森と木の活用～広がるしあわせ

- 森と木に親しむ人々が登場し、そこに音楽隊と華やかなダンサーたちも加わり、森や木の大切さを伝えるオリジナルソングを合唱
- メインテーマアトラクションの最後を飾る、印象的なフィナーレを演出

■エピローグ 未来に続く、しあわせの森

林業の担い手や森と木に親しむ子どもたちからのメッセージ
福井の元気と躍動を伝える未来へのエール

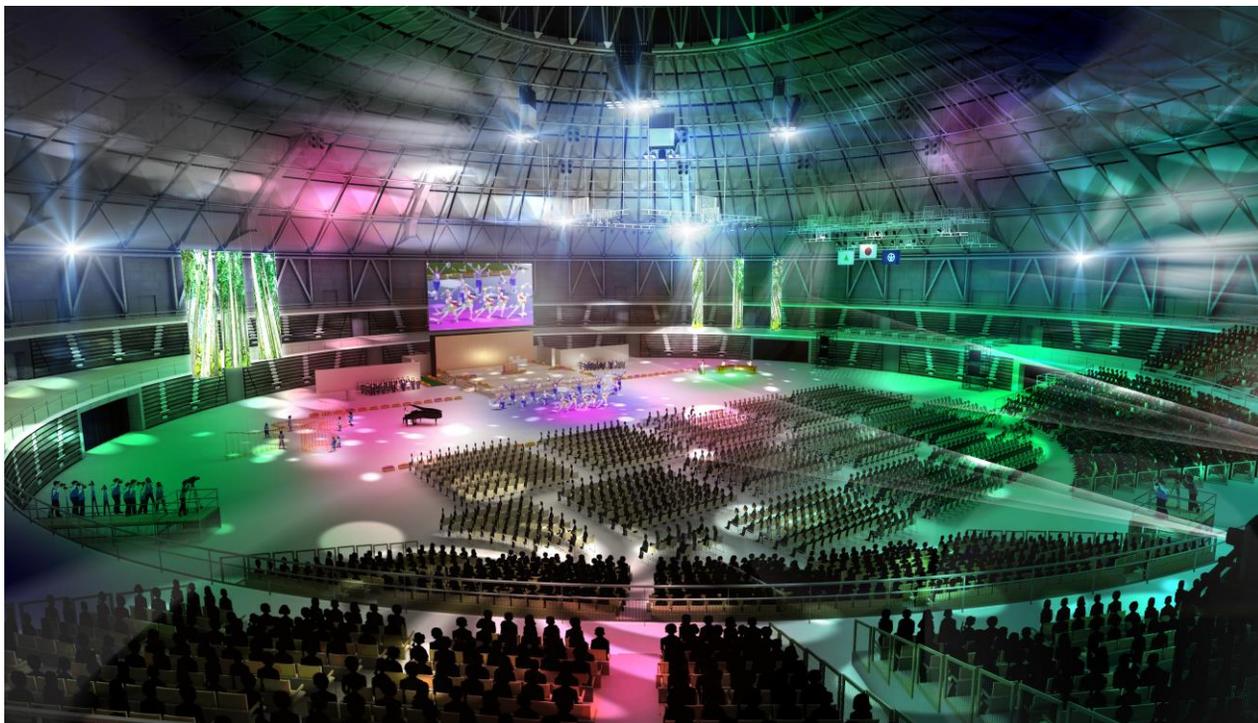


4. 会場設営

(1) 会場概要

会場の設営にあたっては、効果的な演出が得られるよう必要最小限の仮設物を設置するとともに、施設内外装の景観・環境に十分配慮し、福井県産材を使用した安全で快適な会場づくりに努めます。

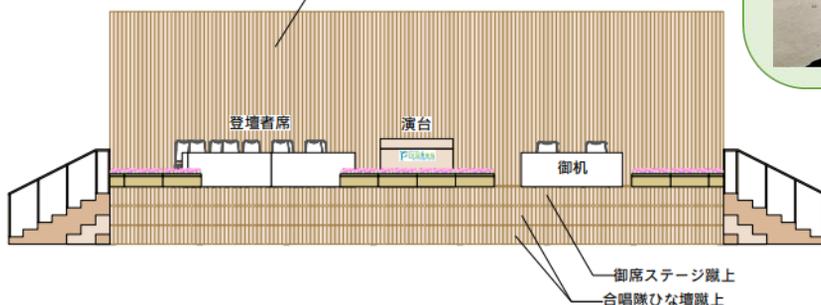
【式典行事会場イメージ】



【式典ステージ 立面図】

●ステージ背面には県産木材を使用したバックパネルを配置し、その装飾には丈夫さと美しさを併せ持つ「越前和紙」を使用し福井県らしさを演出します。

バックパネル：県産木材・越前和紙使用



素材：越前和紙（イメージ）





(2) 主要な仮設物等の設置計画

ア 案内誘導サイン計画

参加者を入場から着席まで円滑に誘導し、おもてなしコーナーやトイレなど会場の配置を把握するための案内誘導サインを設置します。

イ トイレ・給排水設備計画

トイレは基本的に会場設備を利用し、不足が見込まれる分を仮設で設置します。

ウ 映像システムの設置

参加者席から、登壇者およびアトラクション風景や記録映像を見ていただきやすくするため、大型スクリーンを設置します。

エ 音響・照明装置の設置

参加者に、式典行事のダイナミックな演出を体感していただくため、会場内の全席へ均一に音を届ける音響装置や照明装置を設置します。

オ 電気設備計画

電気は式典行事自体の運営、進行に支障をきたすことのないよう、必要な仮設のバックアップ電源を確保して十分な対策を講じるとともに、環境にも十分配慮した計画とします。

電線は、なるべく人の通らないところに配線し、通路を横断せざるを得ない場合は養生を行い、安全に配慮します。

カ その他の仮設物

椅子などの施設備品や、屋外に設置するテントなど汎用性が高くリース可能な仮設物は、経済性を考慮して、原則、既製品を使用します。

(3) 安全性・機能性・効率性への配慮

約4,000名が参加することから、会場計画は安全性を最も重視し、かつ機能的・効率的な計画とします。

ア 警備区域を設定し、警察機関と連携して無許可者の進入を防ぎます。

イ 会場の特性を考慮した仮設物設置計画を検討します。



(4) 会場装飾計画

来場者をおもてなしするため、県産の飾花で会場内のステージやアリーナ等を彩ります。

木製プランター

プランターカバーには、スギなどの県産木材を積極的に活用します。



歓迎オブジェ展開例

会場のエントランス部分には、福井県産材を活用したウエルカムオブジェを設置します。

また、多くの県民の「森林への想い」が詰まったメッセージプレートも併せて展示します。



【木製メッセージプレート】



【プレート作成の様子】

飾花計画～県民参加の飾花～

県内の高校生や事業者が育成した県産の花を設置します。



【マリーゴールド】



【ナデシコ】



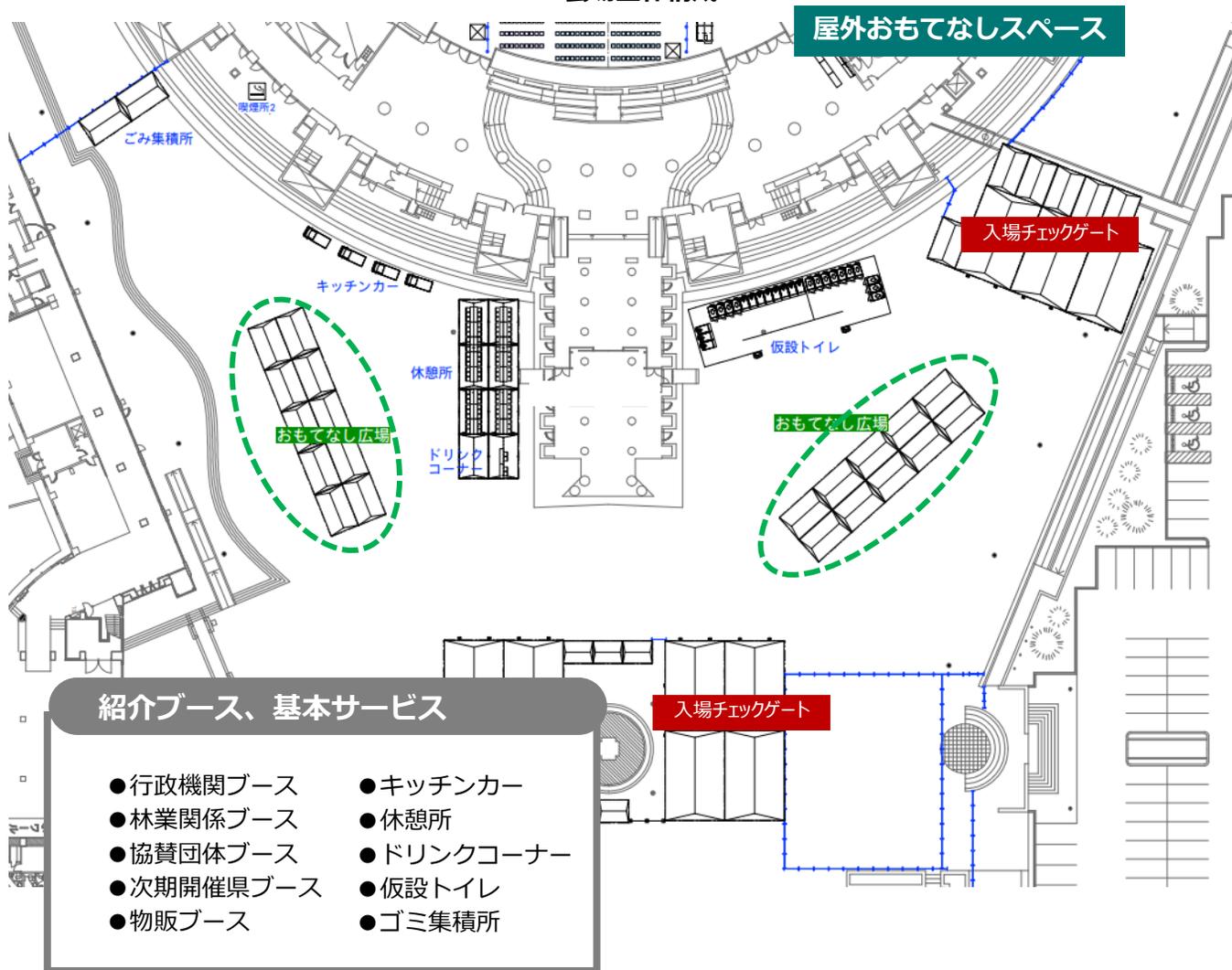
【菊】



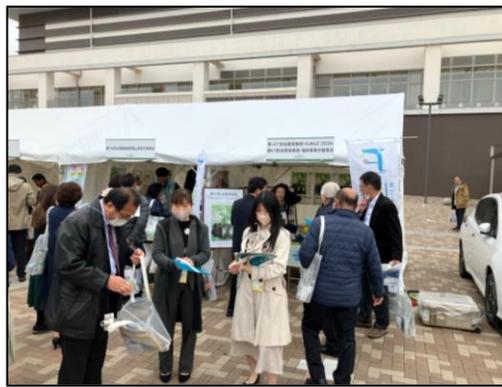
5. おもてなし広場

式典行事の会場に「おもてなし広場」を設置し、福井県の森林づくり活動や木材利用の取り組み、観光情報等の展示・紹介コーナーを設置します。また、県の特産品や飲食物の展示・販売を行います。

■会場全体構成



■第46回全国育樹祭・茨城大会





第4章 懇談会計画



1. 基本的な考え方

皇族殿下のご臨席を仰ぎ、大会関係者を招待し、全国育樹祭での各種表彰者に祝意を表す場として懇談会（歓迎レセプション）を開催します。

2. 懇談会（歓迎レセプション）の概要

(1) 開催日 令和6年10月19日（土）

(2) 会場 未定

(3) 参加者 約400人

皇族殿下

大会会長（参議院議長）、農林水産大臣、
林野庁長官、(公社)国土緑化推進機構理事長、
福井県知事、福井県議会議長、福井県関係者、
福井県市町関係者、緑化等功労者、
林業・木材関係団体代表者等

■第46回全国育樹祭・茨城大会



(4) 次第

| 式次第 | 行事概要 |
|---------|--|
| 皇族殿下御着 | 先 導：福井県知事 お出迎え：参議院議長、農林水産大臣、林野庁長官、 (公社)国土緑化推進機構理事長、宮城県知事、 福井県議会議長 |
| 開会のことば | 福井県議会議長 |
| 主催者あいさつ | 大会会長（参議院議長） |
| 乾杯 | 福井県知事 |
| 歓談 | 皇族殿下による緑化等功労者へのお声掛け、歓談 |
| 皇族殿下御発 | 先 導：福井県知事 お見送り：参議院議長、(公社)国土緑化推進機構理事長 |



第5章 併催行事計画



1. 育林交流集会

県内外の林業・木材産業の関係者や次代を担う学生など、森林・林業に高い関心を持つ人々を対象として、森林づくりや木材利活用等をテーマとした優良事例報告を行います。

- (1) 主催 福井県、公益社団法人国土緑化推進機構
- (2) 開催日 令和6年10月19日(土)
- (3) 会場 プラザ萬象
- (4) 参加者 約500人
- (5) 次第

| 項目 | 内容・出演者等 |
|---------|--------------------|
| 主催者あいさつ | (公社)国土緑化推進機構 |
| 来賓祝辞 | 林野庁・(一社)全国林業改良普及協会 |
| 歓迎のことば | 敦賀市 |
| 事例報告 | (報告者調整中) |
| 閉会のことば | 福井県 |

■第46回全国育樹祭・茨城大会





2. 全国緑の少年団活動発表大会

全国から選出された緑の少年団が一堂に集い、森林の大切さや日頃の活動の取組み、地域の特色ある活動について発表を行います。また、大会終了後は団員同士の交流を深めるため、交流集会を行います。

【活動発表大会】

- (1) 主 催 福井県、公益社団法人国土緑化推進機構
- (2) 開催日 令和6年10月19日(土)
- (3) 会 場 福井県県民ホール(AOSSA8階)
- (4) 参加者 約300人
- (5) 次 第

■ 第46回全国育樹祭・茨城大会



| 項目 | 内容・出演者等 |
|-----------------|------------------|
| 発表団入場・各団紹介 | 緑の少年団 |
| 主催者あいさつ | 福井県・(公社)国土緑化推進機構 |
| 歓迎のことば | 福井市 |
| 励ましのことば | 林野庁 |
| 活動発表 | 緑の少年団(全国選出5団) |
| 特別講演 | アルピニスト 野口 健 氏 |
| みどりの奨励賞 表彰式 | 緑の少年団(全国選出5団) |
| 講評 | (公社)国土緑化推進機構 |
| 緑の少年団育成成功労者 表彰式 | 団体・個人 |
| 閉会のことば | (公社)国土緑化推進機構 |

【交流集会】

- (1) 主 催 福井県、公益社団法人国土緑化推進機構
- (2) 開催日 令和6年10月19日(土)～20日(日)
- (3) 会 場 鯖江青年の家
- (4) 参加者 約200人
- (5) 内 容 県内外の緑の少年団が交流を深めるためのレクリエーション等

■ 第46回全国育樹祭・茨城大会





第6章 記念行事計画

1. 森林・林業・環境機械展示実演会

充実する国内の森林資源の活用に欠かせない高性能林業機械や、日進月歩で技術が進み活用が期待される情報関連機器等、森林林業・木材産業の効率化・高度化に資する関連メーカー等が最新技術を展示実演します。

- (1) 主 催 福井県、一般社団法人林業機械化協会
- (2) 開催日 令和6年10月20日(日)、21日(月)
- (3) 会 場 スキージャム勝山
- (4) 参加者 約17,000人
- (5) 次 第



10月20日(日)

| 内容 | 出演者等 |
|---------|----------------------|
| 主催者あいさつ | 福井県、(一社)林業機械化協会 |
| 来賓あいさつ | 林野庁 |
| 歓迎のことば | 勝山市 |
| テープカット | 福井県、(一社)林業機械化協会、勝山市等 |
| 閉会のことば | 一般社団法人林業機械化協会 |
| 展示・実演 | 国内外の林業機械メーカー等 |

10月21日(月)

| 内容 | 出演者等 |
|-------|---------------|
| 展示・実演 | 国内外の林業機械メーカー等 |

■ 第46回全国育樹祭・茨城大会



2. 県民育樹行事

第47回全国育樹祭の開催機運醸成のため、県内5地区（福井、坂井、奥越、丹南、嶺南）および総合グリーンセンターで育樹行事を開催しました。

- (1) 主催 福井県
- (2) 開催日 令和5年6月～11月
- (3) 会場 県内各地区
- (4) 参加者 約16,000人



3. その他の記念行事

全国育樹祭の開催機運を高めるとともに、県民参加の森林づくりや県産材利用を進めていくために、広く県民が参加できる記念行事を開催します。

【国民参加の森林づくりシンポジウム】

- (1) 主催 福井県、公益財団法人森林文化協会、公益社団法人国土緑化推進機構、株式会社朝日新聞社
- (2) 開催日 令和5年11月26日（日）
- (3) 会場 ハートピア春江 大ホール
- (4) 参加者 約300人
- (5) 内容 基調講演、パネルディスカッション等





【福井県緑の少年団活動発表大会】

- (1) 主催 福井県、公益社団法人福井県緑化推進委員会
- (2) 開催日 令和5年12月20日(水)
- (3) 会場 福井県県民ホール(AOSSA8階)
- (4) 参加者 約220人
- (5) 内容 県内緑の少年団による活動発表を実施



【関連行事】

「フラワーグリーンフェア」や「地域での育樹活動」など、林業関係団体や市町が実施するイベントのほか、県が実施する森林・林業体験学習などと連携し、県内全域で開催機運醸成のための取組を進めます。





第7章 運営計画



1. 基本的な考え方

皇族殿下のご臨席のもと、全国から約4,000人が集う大会であることを踏まえ、安全確保を最優先した運営を行うとともに、効率的でありながらも、必要な配慮の行き届いたきめ細かい運営を行い、誰もが安心・快適に参加できる大会を実現します。

併せて、大会の運営にあたっては、県民参加によるおもてなしを充実させ、関係する機関、団体等との緊密な連携、協力のもと、不測の事態にも速やかに対応できる体制を整備します。

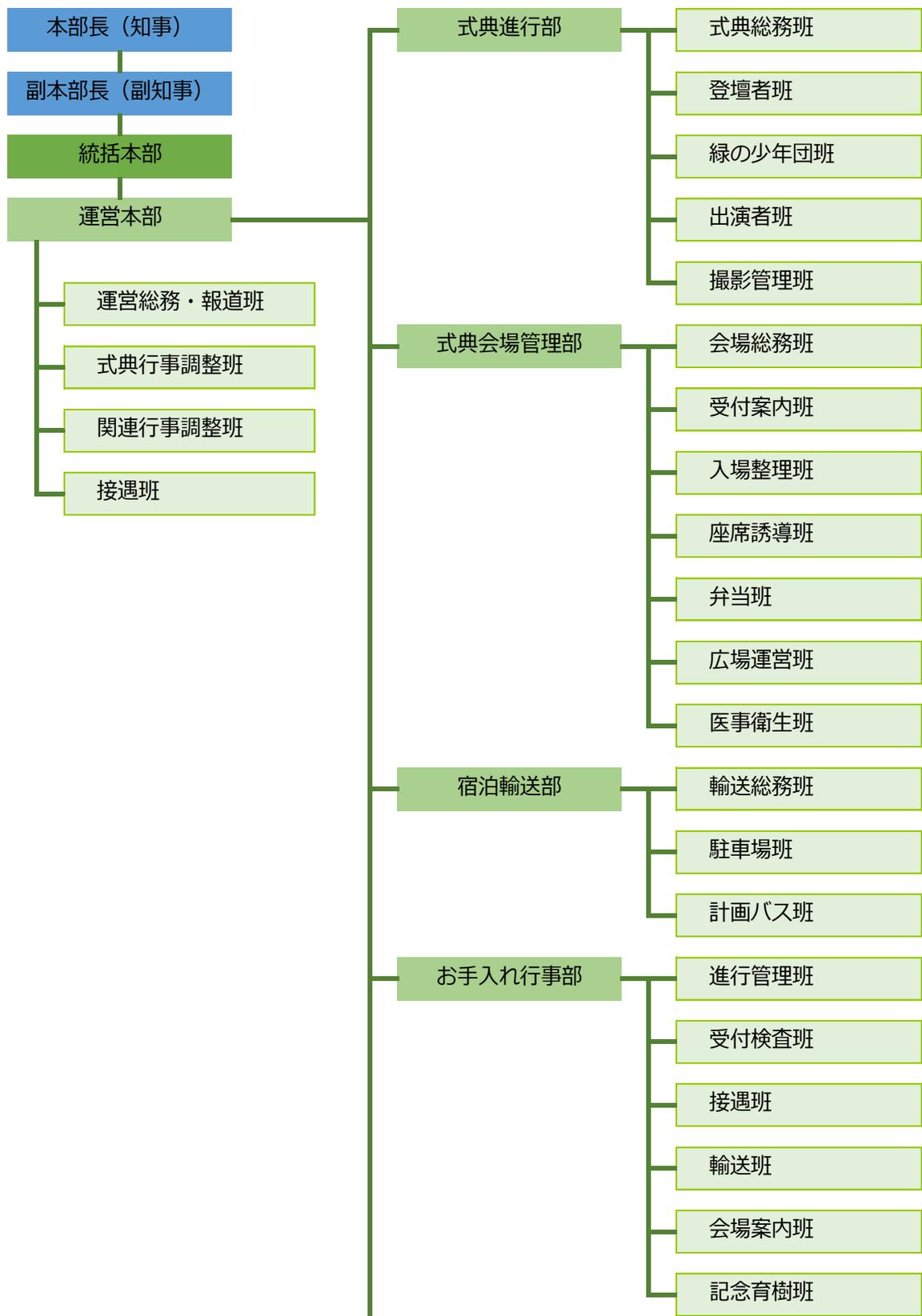
また、DXの積極的な活用により簡素・効率化し、実施本部員の負担軽減および参加者の満足度向上を図ります。

2. 実施本部設置計画

全国育樹祭の式典等を円滑に実施・運営するために、令和6年度に「第47回全国育樹祭福井県実施本部(以下「実施本部」という。)を設置します。また、実施本部員が自らの業務内容を把握できるよう各班単位の「運営マニュアル」を作成します。

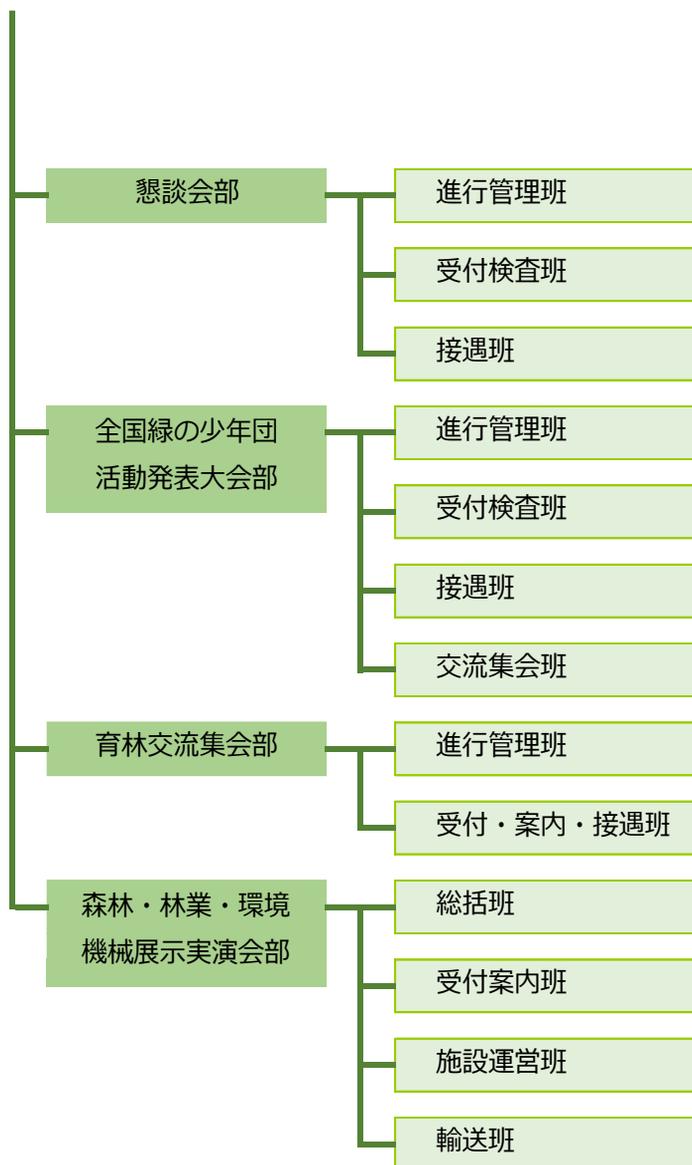


(1) - 1 実施本部組織図 (案)





(1) - 2 実施本部組織図 (案)





第 7 章 運 営 計 画



(2) - 1 実施本部業務分掌 (案)

| 部 | 班 | 所掌事務 |
|---------|----------|---|
| 運営本部 | 運営総務・報道班 | 第47回全国育樹祭の総合調整に関すること 報道関係者の対応に関すること |
| | 式典行事調整班 | 式典行事・会場管理・宿泊輸送の総括および関係部との調整に関すること |
| | 関連行事調整班 | お手入れ行事・併催・記念行事の総括および関係部との調整に関すること |
| | 接遇班 | 特別接遇者の案内、接遇に関すること |
| 式典進行部 | 式典総務班 | 式典進行の総合調整に関すること |
| | 登壇者班 | ステージ登壇者の誘導に関すること |
| | 緑の少年団班 | 緑の少年団、ボーイスカウト、ガールスカウトの誘導管理に関すること |
| | 出演者班 | プロローグ、メインアトラクション、エピローグの出演者誘導、式典音楽隊の行動支援に関すること |
| | 撮影管理班 | 記録撮影に関すること |
| 式典会場管理部 | 会場総務班 | 会場管理の総合調整に関すること |
| | 受付案内班 | 式典会場外の誘導案内および手荷物預かりならびに受付に関すること |
| | 入場整理班 | 入場ゲート通過支援および手荷物検査に関すること |
| | 座席誘導班 | 式典会場内の誘導案内およびIDエリア規制に関すること |
| | 弁当班 | 弁当の配付・回収に関すること |
| | 広場運営班 | おもてなし広場の運営に関すること |
| | 医事衛生班 | 会場の救護・衛生に関すること |
| 宿泊輸送部 | 輸送総務班 | 宿泊輸送の総合調整に関すること |
| | 駐車場班 | 式典行事駐車場の車両誘導に関すること |
| | 計画バス班 | 計画バスの運行管理および添乗に関すること |
| お手入れ行事部 | 進行管理班 | お手入れ行事全体の進行・出演者・道具管理、救護、消防に関すること |
| | 受付検査班 | 参加者の受付・検査に関すること |
| | 接遇班 | 特別接遇者・招待者の案内、誘導、弁当に関すること |
| | 輸送班 | 会場内車両誘導、安全管理に関すること |
| | 会場案内班 | 会場案内、囲み取材の対応に関すること |
| | 記念育樹班 | 参加者の育樹活動補助に関すること |



(2) - 2 実施本部業務分享 (案)

| 部 | 班 | 所掌事務 |
|----------------------|-----------|------------------------------|
| 懇談会部 | 進行管理班 | 懇談会の進行管理に関すること |
| | 受付検査班 | 参加者の受付・検査・誘導に関すること |
| | 接遇班 | 特別招待者、緑化等功労者の誘導・控室管理に関すること |
| 全国緑の少年団 活動発表大会部 | 進行管理班 | 運営、進行管理、救護に関すること |
| | 受付検査班 | 受付・案内、弁当に関すること |
| | 接遇班 | 来賓・講評者等の接遇、発表団サポート、講評会に関すること |
| | 交流集会班 | 交流集会の運営、宿泊・食事、救護、輸送に関すること |
| 育林交流集会部 | 進行管理班 | 運営・進行管理に関すること |
| | 受付・案内・接遇班 | 参加者の受付・接遇に関すること |
| 森林・林業・環境 機械展示実演会部 | 総括班 | 展示実演会全体の総括、連絡調整に関すること |
| | 受付案内班 | 来場者の受付・案内に関すること |
| | 施設運営班 | 配置転換の対応、おもてなし広場の運営、救護に関すること |
| | 輸送班 | 車両誘導およびシャトルバスに関すること |



3. 参加者行動計画

10月19日(土)

| お手入れ行事会場・一乗谷朝倉氏遺跡 / 歓迎レセプション会場 | | | | |
|--------------------------------|-----------------|-------|-------|-------|
| 区分 | 皇族殿下 | 特別接遇者 | 県外参加者 | 県内参加者 |
| 車両 | 御料車 | ハイヤー | バス等 | バス等 |
| 午前 | お手入れ行事会場 | | | |
| | | | | |
| 午後 | | 会場着 | 会場着 | 会場着 |
| | | 育樹活動 | | |
| | 御着 | | | |
| | お手入れ行事 | | | |
| | 御発 | | | |
| | | 会場発 | 会場発 | 会場発 |
| | 懇談会(歓迎レセプション)会場 | | | |
| | | 会場着 | 会場着 | 会場着 |
| | 御着 | | | |
| | 懇談会(歓迎レセプション) | | | |
| 御発 | | | | |
| | 会場発 | 会場発 | 会場発 | |



第 7 章 運 営 計 画



10月20日 (日)

| 式典行事会場・福井県産業振興施設（サンドーム福井） | | | | |
|---------------------------|---------------|-------|-------|-------|
| 区分 | 皇族殿下 | 特別接遇者 | 県外参加者 | 県内参加者 |
| 車両 | 御料車 | ハイヤー | バス等 | 乗用車等 |
| 午前 | 式典行事会場 | | | |
| | 御着 | 会場着 | 会場着 | 会場着 |
| | プロローグ | | | |
| | 式典行事 | | | |
| 午後 | 御発 | 会場発 | エピローグ | |
| | | | 会場発 | 昼食 |
| | | | 会場発 | 会場発 |
| | | | | |



4. 宿泊計画

県外参加者は北陸新幹線での来県が多いと予想されるため、交通利便性の高い福井駅周辺を優先した福井市内および近隣市を中心に宿泊施設を選定します。

また、例年利用希望が多いシングル利用または定員内利用を原則として、宿泊予定人数に対して十分な部屋数を確保します。

(1) 宿泊施設の選定基準

- ア 交通の利便性が高い宿泊施設
- イ 安心・安全・快適なおもてなしができる宿泊施設
- ウ 早朝のチェックアウトに応じた朝食を提供できる宿泊施設

(2) 宿泊対象者

宿泊対象者は、県外参加者（招待者）とします。

(3) 宿泊期間

原則として、式典行事開催日の2日前から式典当日とします。

5. 輸送計画

お手入れ行事当日（併催行事開催日）と式典行事当日、記念行事開催日の3日間を中心に、バス・ハイヤーなどの借上車両による輸送を実施します。

輸送にあたっては、各行事会場や宿泊場所の立地、参加者の利便性、輸送規模などを考慮し、会場によっては参加者が直接乗用車で来場できるようにするなど、最適な輸送方法を選定し経費削減に努めます。福井県警察本部および関係機関等との緊密な連携により、警備・警護に不備のないようにします。

(1) 運行管理体制

目的地までの輸送ルート、所要時間、道路状況等を反映した綿密な運行管理計画を策定します。

式典会場に「総合輸送本部」を設置し、借上車両の運行状況を一括で管理し、安全かつ円滑な運行管理体制を構築します。

(2) 駐車場・乗降場の誘導

必要な箇所に警備員や実施本部員等の人員やカラーコーン・コーンバーなどの安全資材を配置し、適切に車両を誘導します。

また、円滑に車両を誘導するため、周辺道路や会場周辺に案内看板を設置します。

(3) 緊急時の対策

事前に非常時の連絡体制を整え、運転手やバスに添乗する実施本部員等に周知徹底します。また、交通事故など当日の急なトラブルに備え、予備のバスを確保します。



6. 受付計画

(1) お手入れ行事・式典行事

ア 計画バス※で移動する参加者

計画バス乗車時に受付を行います。

イ 計画バスで移動しない参加者

会場で受付を行います。

※実行委員会で策定した乗車名簿および輸送計画に基づき運行されるバス

(2) その他の行事

会場等に実施本部員を配置し、受付・案内を行います。

参加者数に対して十分な受付ブースを用意することで、確実な本人確認やセキュリティチェックを行いながらも、スムーズに受付できる体制を構築します。

7. 警備・警護計画

福井県警察本部および関係機関等との緊密な連携により、警備・警護に不備のないようにします。

(1) 会場内での事件・事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と緊密に連携して警備を実施します。

(2) 会場周辺に警備員や実施本部員などを配置し、警備や車両の交通整理、参加者の誘導にあたり、雑踏事故・交通事故、その他事件事故の防止に努めます。

(3) 全国緑の少年団活動発表大会会場、お手入れ行事会場、レセプション会場および式典行事会場の入場ゲートでは、金属探知機による手荷物検査を実施します。

(4) 会場に仮設物等を設置し撤去するまでの間、必要に応じて夜間警備員を配置するなど無許可者の侵入やいたずらの防止を図ります。

(5) 行事当日は、会場内における禁止事項を定め、県警本部との連携のもと、治安の維持に努めます。



8. 消防・防災計画

会場周辺に消防車等を配置し、万一の火災、自然災害等の緊急事態に備えます。

- (1) 火災、地震等の災害が発生した場合には、参加者の安全確保を最優先とした運営を行います。
- (2) 消防、警察その他関係機関との協力体制を築き、緊密な連携を図ります。
- (3) 特に危機管理については、責任者を明確にするとともに、緊急事態等の発生に備え、対応マニュアルや避難計画等を準備し、実施本部員に周知徹底します。
- (4) 実施本部が中心となり、異常の早期発見、通報に努めます。
- (5) 会場内の主要施設および火気取扱箇所には、消火器を設置し、防火指導を徹底します。
- (6) 会場内は、喫煙所を除いてすべて禁煙とし、必要に応じて消火器を設置します。
- (7) 宿泊施設については、地元消防署等関係機関の協力を得て、安全対策に万全を期します。

9. 救護・衛生計画

各会場における傷病者の救護に関する体制を整備するとともに、飲食等による事故の発生防止を図るための食品衛生対策、ごみ処理や尿処理等の環境衛生対策を取ります。

(1) 医療・救護

- ア 行事当日およびリハーサルにおいて、傷病等の発生に備えるため、医療・救護体制を整えます。
- イ 必要に応じて会場内に救護所を設置し、傷病者の医療・救護を行います。
- ウ 救護所には、関係機関の協力を得て、スタッフおよび傷病者の手当に必要な医薬品・医療器具や休憩用ベッドを用意します。
- エ 消防署や近隣医療機関の協力を得て、緊急時の搬送体制を整えます。
- オ 会場や宿泊施設、輸送時において、傷病等が発生した場合、素早く適切に加療にあたるよう、医療・救護対応フローを作成します。



(2) 環境衛生対策

- ア 保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- イ 食の安全を期するため弁当業者や宿泊施設、会場内の食品提供団体等への指導を行い、食品衛生管理を徹底します。
- ウ 飲食等により発生する廃棄物は適切に処理を行い、会場および周辺的环境美化に努めます。
- エ 会場内にごみ集積所を設置し、分別回収を行うとともに、係員による適宜巡回清掃を行い、快適な環境づくりに努めます。
- オ 会場内各所に設置する仮設トイレについても、巡回清掃および確認を行い、清潔で使いやすい環境づくりを心がけます。

10. 参加者サービス計画

式典行事会場におもてなし広場、湯茶提供コーナー等を設置し、参加者へのサービスに努めます。

(1) おもてなし広場・湯茶提供コーナー

参加者の入場動線上におもてなし広場・湯茶提供コーナーを設置し、県産品等の展示や販売を行います。

なお、出展ブースについては、関係する行政機関や団体と協議を行い選定します。

(2) 記念品等

全国育樹祭への参加を記念し、福井県産材を利用した工芸品や特産林産物など福井らしい記念品を贈呈します。

(3) 昼食

福井県産食材を使用した福井県を満喫できるメニューを提供します。

また、容器や包装資材も環境に配慮したものを使用します。

衛生管理を徹底して確実に納入できる体制を構築します。



1.1. 視察（エクスカーション）計画

県外からの参加者に、福井県の豊かな自然・歴史・文化等の魅力を知っていただくとともに、福井県に再来訪したくなるよう、「はぴバス」のツアーを視察（エクスカーション）と位置づけ、提供していきます。

1.2. 雨天時・荒天時対応計画

行事中止の判断基準となるガイドラインの設定のほか、荒天時等の開催可否を判断するための「判定会議（仮称）」を設置します。

（1）判定会議の開催

- ア 荒天時等（暴風・強風等）で行事を計画どおりに実施することに懸念が生じた場合は判定会議を実施し、お手入れ行事および式典行事等の開催を判断します。
- イ 開催の判断は、警報・注意報の発令や交通機関の運行状況等を参考に行います。

（2）決定内容の通知について

- ア 荒天により中止とすることが決定された場合には、関係者に直ちに通知します。
- イ また、第47回全国育樹祭公式ホームページ等により、情報提供を行います。

（3）雨天時のお手入れ行事の開催

雨天時のお手入れ行事については、傘の差し掛けで対応します。

（4）判断基準

| 行事名 | 天候 | 対応 | 説明 |
|--------|----|----|---|
| お手入れ行事 | 晴天 | 開催 | 計画に基づき開催します |
| | 雨天 | | 晴天時と同様に行事を開催します |
| | 荒天 | 中止 | 屋外会場のため行事を中止します |
| 式典行事 | 晴天 | 開催 | 計画に基づき開催します |
| | 雨天 | | 屋内会場のため開催します。ただし、台風が接近した場合等参加者の安全輸送に支障を来す恐れがある場合には、プログラムの変更や規模縮小、開催中止を状況に応じて判断します |
| | 荒天 | | 屋内会場のため開催します。ただし、台風が接近した場合等参加者の安全輸送に支障を来す恐れがある場合には、プログラムの変更や規模縮小、開催中止を状況に応じて判断します |

※大規模な地震等の緊急事態が発生した場合は、大会を中止します。



第8章 広報・協賛計画



1. 広報計画

(1) 広報

第 47 回全国育樹祭を広く県内外に知らせるとともに、開催機運を高めるため、効果的な広報を積極的に行います。

- ア 公募により決定した「大会テーマ」「大会シンボルマーク」「ポスター原画」を効果的に活用します。
- イ 報道関係、業界紙、広報誌、インターネットなどを活用した情報発信を積極的に行います。
- ウ 各種広報物品（リーフレット、ポスター、パネル、のぼりなど）を制作し、関係機関などに配布します。

(2) 記録

第 47 回全国育樹祭の開催記録を保存するために、記録誌および映像を制作します。

2. 協賛計画

全国育樹祭の開催趣旨に賛同する企業や団体、個人を対象に、金銭や物品、広報 P R への協力等による協賛を募集します。

(1) 協賛の種類

- ア 金 銭 協 賛：育樹祭の準備および運営等に要する金銭の提供
- イ 物 品 協 賛：育樹祭の準備および運営等に要する物品の提供
- ウ 広報 P R 協賛：育樹祭の広報および P R 活動への協力

(2) 協賛の特典

- ア 式典行事プログラム・協賛者ボード等への掲載
- イ 記録誌への掲載
- ウ 育樹祭公式 HP への掲載
- エ 育樹祭公式ロゴマーク、シンボルマーク等の使用
- オ 式典への参加者枠優先確保
- カ 懇談会（式典前日開催予定）への参加者枠優先確保
- キ おもてなし広場での企業ブース出展枠優先確保
- ク 感謝状の授与
- ケ 記念誌の提供
- コ 記念品の授与



第9章 開催準備計画



第47回全国育樹祭の式典運営をはじめ、開催に向けての準備を整えるため、各種説明会・練習会・研修会等及びリハーサルを事前に実施し、総合調整を図ります。

1. リハーサル計画（お手入れ行事）

（1）お手入れ行事リハーサル

実施日：令和6年10月12日（土）

場 所：一乗谷朝倉氏遺跡

内 容：お手入れ行事全般に関わるリハーサル

（2）お手入れ行事当日リハーサル

実施日：令和6年10月19日（土）

場 所：一乗谷朝倉氏遺跡

内 容：お手入れ行事直前の通しリハーサル



2. リハーサル計画（式典行事）

（1）式典音楽隊合同練習会

実施日：令和6年夏～秋（未定）

場 所：式典会場近隣公共施設等

内 容：式典音楽演奏の合同練習会および音源の録音（式典補助員他研修用音源）

（2）式典補助員研修会

実施日：令和6年夏～秋（未定）もしくは式典行事リハーサルと同日

場 所：式典会場近隣会議室等もしくは式典会場

内 容：接遇の基本所作研修および式典の登壇者誘導等のレクチャー

（3）式典行事リハーサル

実施日：令和6年9月22日（日）

場 所：福井県産業振興施設（サンドーム福井）

内 容：式典行事に関わるリハーサル

（プロローグ、メインテーマアトラクション、エピローグを除く）

（4）式典行事総合リハーサル

実施日：令和6年10月13日（日）

場 所：福井県産業振興施設（サンドーム福井）

内 容：式典行事全般に関わるリハーサル

（5）式典行事前日リハーサル

実施日：令和6年10月19日（土）

場 所：福井県産業振興施設（サンドーム福井）

内 容：式典行事全般に関わるリハーサル



3. 開催スケジュール

令和6年秋季の開催に向け、記念行事の開催や会場の整備、実施計画の策定、リハーサルの実施など、計画的に準備を進めていきます。

| 年度 | 月 | 大会開催計画 | リハーサル等 | 会場関係 |
|-------|-----|--|---|--------------|
| 令和5年度 | 10月 | | | お手入れ行事会場の整備等 |
| | 11月 | 国民参加の森林づくりシンポジウム | | |
| | 12月 | 福井県緑の少年団活動発表大会 | | |
| | 1月 | | | |
| | 2月 | | | |
| | 3月 | 実施計画の決定・公表 | | |
| 令和6年度 | 4月 | 公募参加者の募集 カウントダウンイベント 大会実施本部設置 | | 仮設物の設置 |
| | 5月 | | | |
| | 6月 | プレイベント | | |
| | 7月 | | 各種練習会 ・ 研修会 | |
| | 8月 | | | |
| | 9月 | | 式典行事 リハーサル | |
| | 10月 | 10月19日 第47回全国育樹祭（お手入れ行事） 10月20日 第47回全国育樹祭（式典行事） 10月19日～21日 併催・記念行事 | お手入れ行事 および式典行事 総合リハーサル 前日リハーサル | |
| | 11月 | | | |
| | 12月 | | | |
| | 1月 | | | |
| | 2月 | | | |
| | 3月 | | 記録誌の発行 | |

第47回全国育樹祭実施計画

令和6年3月発行

編集・発行 第47回全国育樹祭福井県実行委員会

福井県福井市大手3丁目17-1（森づくり課内）

連絡先 0776-20-0749